

平成27年産「アルプス米」湛水直播コシヒカリの栽培こよみ (JA米)

直播栽培の拡大で気象変動リスク回避と作業の分散・コスト削減!

アルプス農業協同組合
アルプス農協管内農業技術者協議会

ポイント1
望ましい導入条件

- カラス、カモ等の鳥害を受けにくい地域
- 減水深の小さいほ場（畦塗り等で対応可能）
- 周囲の移植田等からの浸水のないほ場（団地化が望ましい）

ポイント2
播種までのほ場準備

畦塗り、土改良材散布

耕起、代かき

代かき～播種までの日数
砂壤土 2～3日程度
粘質土 4～5日程度

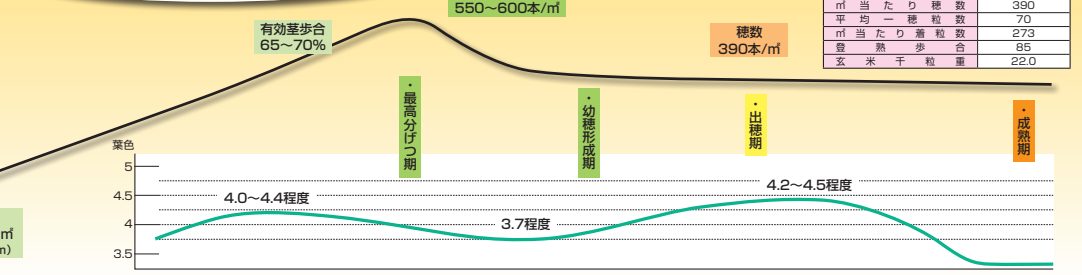
ポイント5

代かき前に土壌改良資材、リン酸、カリを施用

湛水直播コシヒカリ生育の目安

肥効調節型(基肥一発)施肥量 kg/10a

| 土壌区分 | 元 気(新) | 土壌改良資材 シリカロマン | 粒状ケイカル | 基 肥 LPSs湛水コシカリ |
|---------|--------|------------------|--------|-------------------|
| 砂壤土 | 100 | 100 | 200 | 32～35 |
| 壤土、黒ボコ土 | 100 | 100 | 200 | 25～28 |
| 粘質土 | 100 | 100 | 200 | 23～26 |



ポイント4

種子の準備

(例) 品種: コシヒカリ

種子量 2.5～3 kg/10a

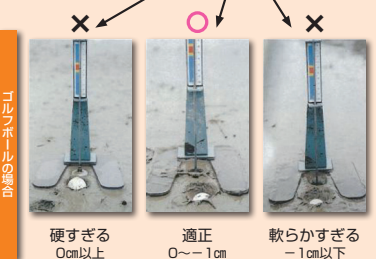
乾燥 1kgにカルパーを1～2倍粉衣
タチレエースM粉粒を3%粉衣

1日目: 2日, 3日, 4日, 5日, 6日, 7日

加温処理で 出芽促進効果UP

ポイント3

播種時の土壌の硬さが重要



| 月日 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
|--------|----|-----|------------|-------|--------|-------|-------------------|-----|
| 生育ステージ | | 播種期 | 出芽・苗立期 | 有効分げつ | 無効分げつ期 | 穂ばらみ期 | 登熟期 | 成熟期 |
| 水管理 | | 田干し | 中干し(溝の手直し) | 間断かん水 | 飽水管理 | 湛水管理 | 間断かん水(落水を急がないように) | |

播種後、一週間程度田干しを行うが、乾きすぎる場合は一週入水し、二段干しを実施する

代かき～播種までの日数
砂壤土 2～3日程度
粘質土 4～5日程度

溝張り

満は排水口につなぐ

| 防除時期 | 出穂前(穂時) | 穂前期(基本) | 穂期(基本) |
|------|--------------------------------|--|----------------------------|
| 粉剤対応 | ブラシバ(リタ)粉剤DL 4kg/10a(収穫14日前まで) | ラフサイドキップ粉剤DL 4kg/10a(収穫14日前まで) | スタークル粉剤DL 3kg/10a(収穫7日前まで) |
| 液剤対応 | ブラシバ(リタ)フロアブル 1000g(収穫14日前まで) | ラフサイドフロアブル 1,000～1,500g(収穫14日前まで) キップフロアブル 1,000～2,000g(収穫14日前まで) | スタークル液剤10 1,000g(収穫7日前まで) |
| 使用液量 | 150ℓ/10a | 150ℓ/10a | 150ℓ/10a |

ポイント6

早刈りは青米や蛋白率の増加をまねきます

栽培管理のポイント

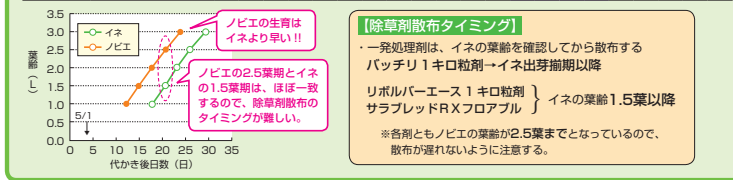
- 土壌改良資材の散布**
 - 土壌改良資材を散布する。
- ほ場の均平**
 - 少ない水で代かきし、均平に整える。溝の間に畦塗り。
 - 溝の3～4日前に代かきを行う。
 - 代かき後は畦塗りをして、湛水期間となるべく均平にする。
 - ほ場の均平が代かきや畦塗りの影響を受けるので、耕起時に均平調整を実施する。
- 代かきは丁寧に行う**
 - 湛水後、代かき機を丁寧に湛水期間となるべく均平にする。
- 加温処理による早期出芽**
 - 加温処理は種子の発芽を促進する。
- 播種作業は確実に**
 - 播種機は10mm程度の隙を確保する。
 - 播種機は10mm程度の隙を確保する。
 - 播種機は10mm程度の隙を確保する。
- 落水出芽法で苗立ちの安定**
 - 湛水後、落水出芽法で苗立ちを安定させる。
- 浅水管理の徹底**
 - 浅水管理で早期分げつを確保する。
- 中干しは遅れずに開始**
 - 中干しは遅れずに開始する。
- 適期に葉いもち等予防**
 - 6月中旬までに手遅れを防ぐ。
 - 6月中旬までに手遅れを防ぐ。
- 幼穂形成期以降は飽水管理**
 - 幼穂形成期以降は飽水管理を行う。
- 出穂後20日間の湛水管理**
 - 出穂後20日間の湛水管理を行う。
- 生育に応じて追肥**
 - 生育に応じて追肥を行う。
- 防除の底**
 - 1回目は穂前期
 - 2回目は穂期
 - 3回目は穂後
- 土壌水分の維持で登熟の向上**
 - 土壌水分の維持で登熟の向上を図る。
- 秋耕・土壌改良資材の散布**
 - 秋耕は85%以上で十分効果を得る。
 - 土壌改良資材の散布は1週間前までに間断かん水
- 適期刈り取りで品質低下防止**
 - 適期刈り取りで品質低下防止を図る。

除草剤散布

- 除草剤の散布は、出芽後入水し、**減水が落ち着くまで湛水状態が安定してから散布**する。
- 散布時期を守り、遅れないように注意する。
- 散布後5日間は湛水状態を維持し、散布後7日間は「止水管理」(「落水」や「かけ流し」をしない)とする。
- 気温が高めに推移していることから、使用時期の範囲内で遅れないように注意する。

◎除草剤散布の例

| 除草剤の選択方法 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 未実施の場合 又は 雑草が多い場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出芽促進 (加温)処理 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 変換した場合 又は 雑草が少ない場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



・直播除草剤

| 除草剤名 | 使用時期 | 使用時期の目安 | 適用土壌 | 使用量 | 使用方法 | 使用回数 |
|---------------|------------------------------------|-----------|--------|-----------|------|------|
| キックバイ1キロ粒剤 | ノビエ2.0葉期まで(ただし収穫90日前まで) | 播種後5～7日 | 砂壤土～壤土 | 1kg/10a | 湛水散布 | 1回 |
| パッチリ1キロ粒剤 | イネ出芽期～ノビエ2.5葉期まで(ただし収穫90日前まで) | 播種後7～9日 | 砂壤土～壤土 | 1kg/10a | 湛水散布 | 1回 |
| リボルバーエース1キロ粒剤 | イネ1.5葉期以降かつノビエ2.5葉期まで(ただし収穫90日前まで) | 播種後13～16日 | 砂壤土～壤土 | 1kg/10a | 湛水散布 | 1回 |
| サラブレッドRXフロアブル | イネ1.5葉期以降かつノビエ2.5葉期まで(ただし収穫90日前まで) | 播種後13～16日 | 砂壤土～壤土 | 500ml/10a | 湛水散布 | 1回 |

・雑草が残った場合

| 発生草種 | 除草剤名 | 使用時期 | 適用土壌 | 10a当たり散布量 | 使用上の注意 |
|-------------------------|--------------|-------------------------------|--------|------------------------|--|
| ノビエ | クリンチャー1キロ粒剤 | 播種後10日以降ノビエ3葉期まで(ただし収穫90日前まで) | 砂壤土～壤土 | 1.0kg | 散布時には5cm程度の湛水とし、散布後5日間は湛水状態を確保する。 湛水後、湛水が予想される場合は使用を避ける。 |
| | クリンチャーEW | 播種後10日以降ノビエ4葉期まで(ただし収穫90日前まで) | | 1.5kg | |
| ノビエ、マツパイ、ホタルイ、クサネム | クリンチャーパスME液剤 | 播種後10日以降ノビエ5葉期まで(ただし収穫90日前まで) | 砂壤土～壤土 | 1000ml(希釈水量25～100ℓ) | 雑草の葉面に確実に付着するよう、散布する。 湛水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、湛水しない。 湛水日を選んで散布する。 |
| | サンパンチ1キロ粒剤 | 稲4.0葉期～ノビエ3葉期まで(ただし収穫90日前まで) | | 1.0kg | 散布後5日間は湛水状態を確保する。 湛水後、湛水が予想される場合は使用を避ける。 |
| マツパイ、ホタルイ、ウリウリ、ミズガヤツリ 他 | バサグラン液剤 | 播種後35～50日(ただし、収穫90日前まで) | | 500～700ml(希釈水量70～100ℓ) | 湛水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、湛水しない。 湛水日を選んで散布する。 |